

持続可能な地域文化と ボランティアを見つめて コロナ禍の中でどう変わった！

ふくおか文化ボランティアフォーラム2021

大澤 寅雄

ニッセイ基礎研究所社会研究部

芸術文化プロジェクト室主任研究員

私の仕事

官公庁、自治体の文化政策に関する調査研究

- 厚生労働省
- 文化庁
- 地域創造
- 東京都、横浜市

芸術団体のアートマネジメントに関する調査研究

- アフィニス文化財団

公立のホール・劇場の事業評価

- 北九州芸術劇場
- 可児市文化創造センター
- あうるすぽっと
- 世田谷パブリックシアター

文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと
ニッセイ基礎研究所, いわき芸術文化交流館アリオス (著)



これからのアートマネジメント ソーシャル・シェアへの道
中川真, フィルムアート社編集部 (編集)

1. 3年前のニュースと 最近のニュース

東京五輪・パラの大会ボランティア、目標の8万人達成

2020年東京五輪・パラリンピック大会組織委員会は21日、国内外から募った大会ボランティアの応募者が20日午前9時時点で8万1035人に上り、**目標の8万人を達成した**と発表した。**4割超が外国籍で、東京大会は支え手も国際色豊かになりそうだ**。一部の活動分野は目標の人数に届いておらず、引き続き応募を呼びかけている。

(2018/11/21 日本経済新聞)

五輪ボランティア 目標8万人突破「ブラック」批判も「理解されている方たくさん」

大会のボランティアを巡っては、無償であること、「10日以上を基本」とする活動条件や、宿泊費などが自己負担であること、交通費としての支給が1000円のプリペイドカードであることなどの条件に「ブラックボランティア」、「やりがい搾取」などと批判を受けていたが、ひとまず目標人数を突破した。

組織委の武藤事務総長は「色々な考えの人がいる」とした上で「ボランティアは奉仕ということでお金をもらうことが目的ではない。これは我々が特殊なのではなく、五輪はずっとこういう考え方でやってきている。予想以上に長期間を希望する人も多かった。自らそういう活動をすることで、人生において新たな学びをするのがボランティアの本当のところ。そういうことを理解されている方がたくさんおられた」と、手応えを語った。

(2018/11/21 デイリー / Yahoo!ニュース)

東京五輪・パラのボランティア 70%以上が“参加理由を達成”

東京オリンピック・パラリンピックの運営に携わった「大会ボランティア」に対して、組織委員会が行ったアンケート調査で、**70%以上が「活動に参加した理由を達成できた」と回答**し、東京大会での活動は、**ボランティアにとって一定の満足度が得られる結果**となったことが浮かび上がりました。

(中略) 回答したボランティアからは「抽象的なことばだった『多様性』を具体的にイメージできるようになった」という声が寄せられた一方で、「**大会の終結が活動の終わりにならないようにしたい**」といった意見もありました。

(2021年10月29日 NHK NEWS WEB)

ボランティアガイド活動存続の危機訴え

長年沖縄の平和学習に携わってきたボランティアガイドの団体が**新型コロナウイルスの影響で活動存続の危機**に陥っていて、学びの機会を提供し続けたいと寄付金への協力を呼びかけています。

県観光ボランティアガイド友の会はおよそ25年にわたって修学旅行生を中心に戦跡巡りや戦争体験者による講話など活動をしてきました。

ところが**新型コロナの影響で修学旅行生が激減したことで収入は以前の3%以下**となり会では来年度以降の活動存続の危機に陥っているとして寄付金への協力を呼びかけています。

(2021年11月25日 沖縄テレビ放送)

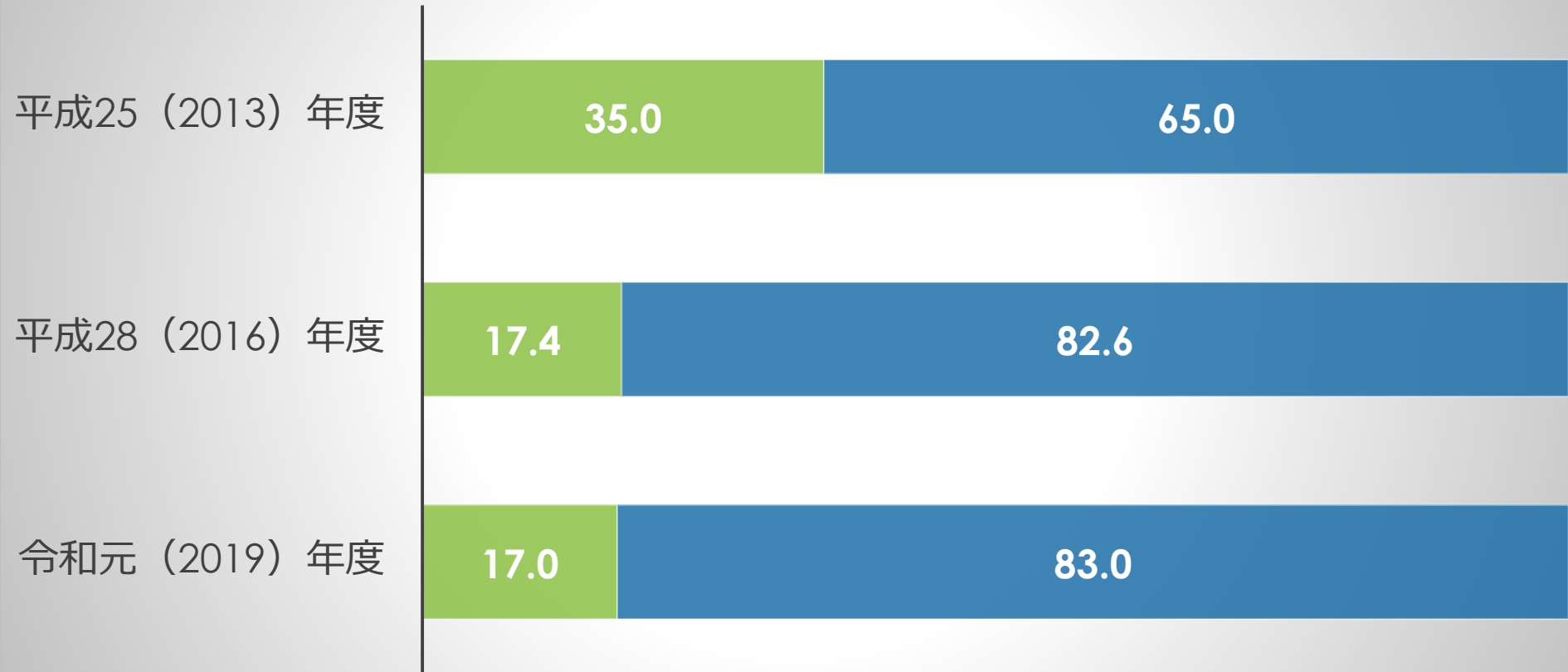
2. コロナ禍以前の ボランティアの傾向

市民の社会貢献に関する 実態調査（内閣府）

調査対象：全国に居住する満20歳以上の男女

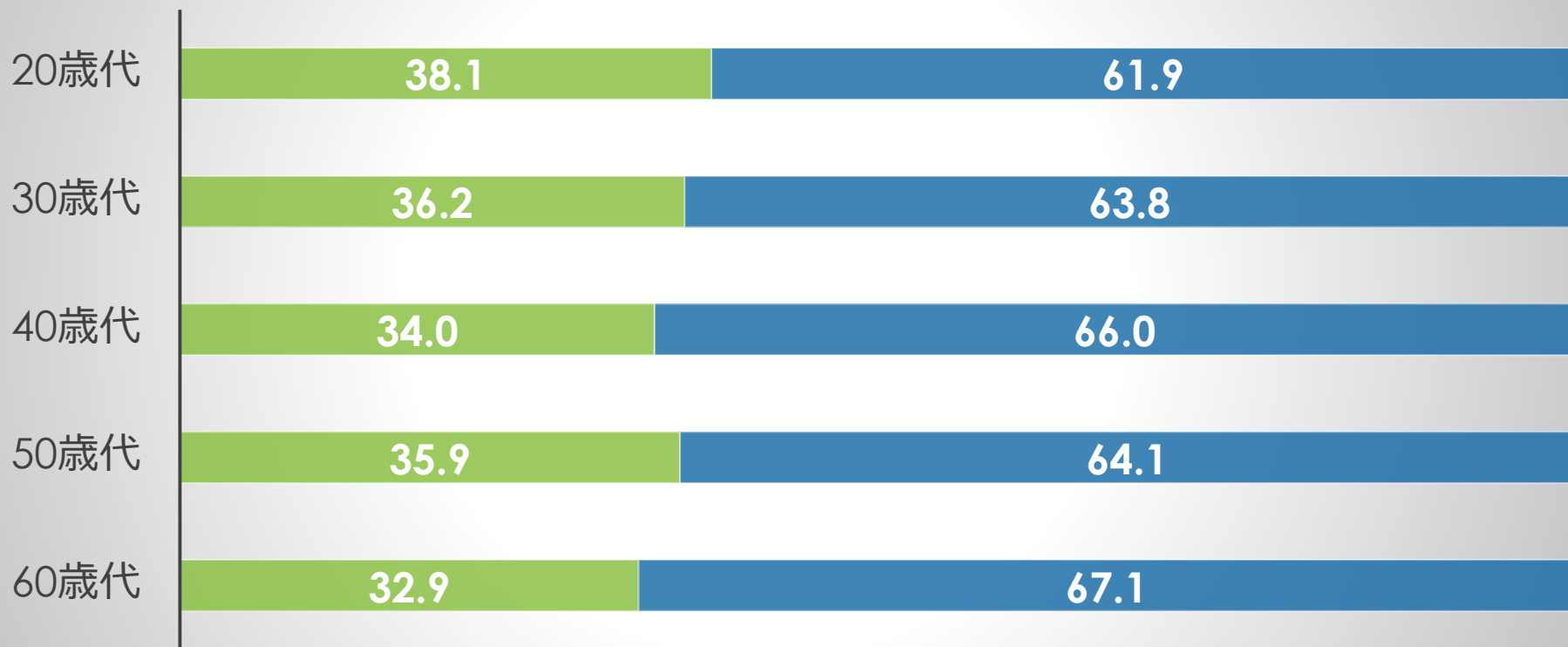
ボランティア活動経験の有無

■ したことがある ■ したことがない



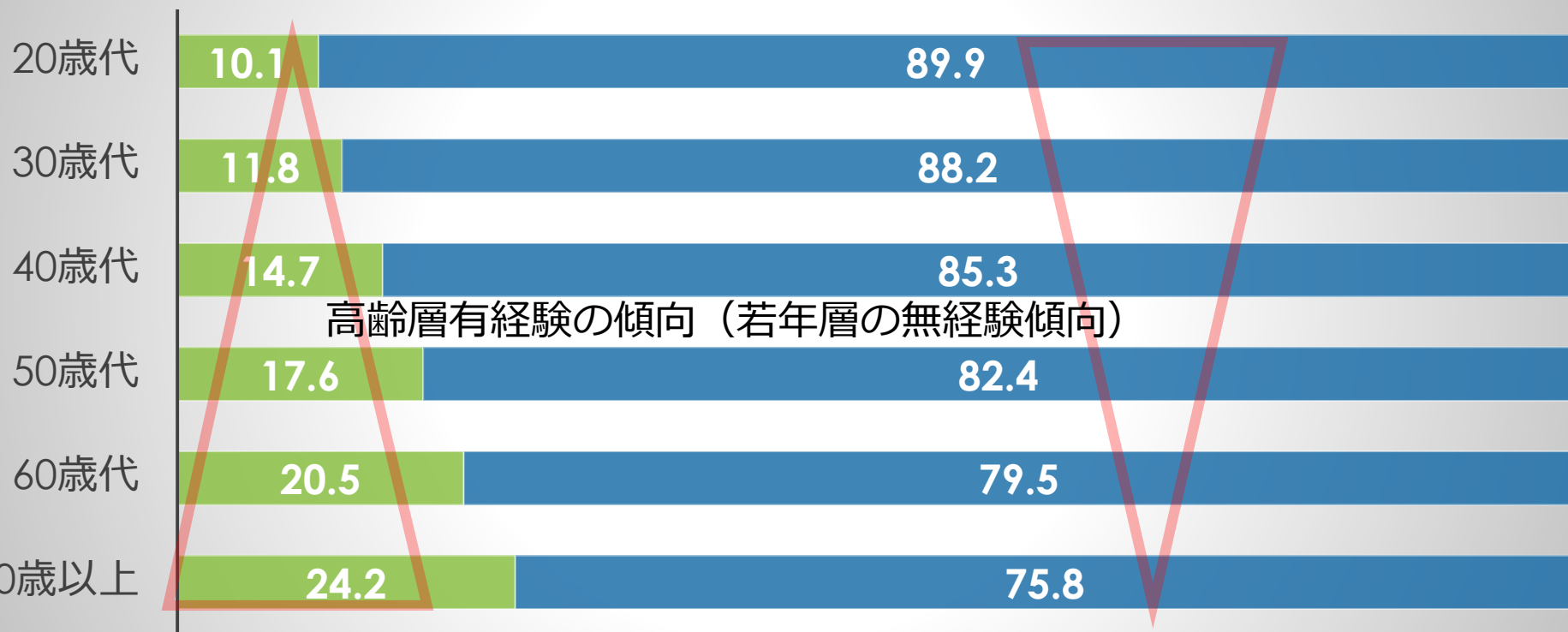
ボランティア活動経験の有無（年代別） 平成25（2013）年度調査

■ したことがある ■ したことがない



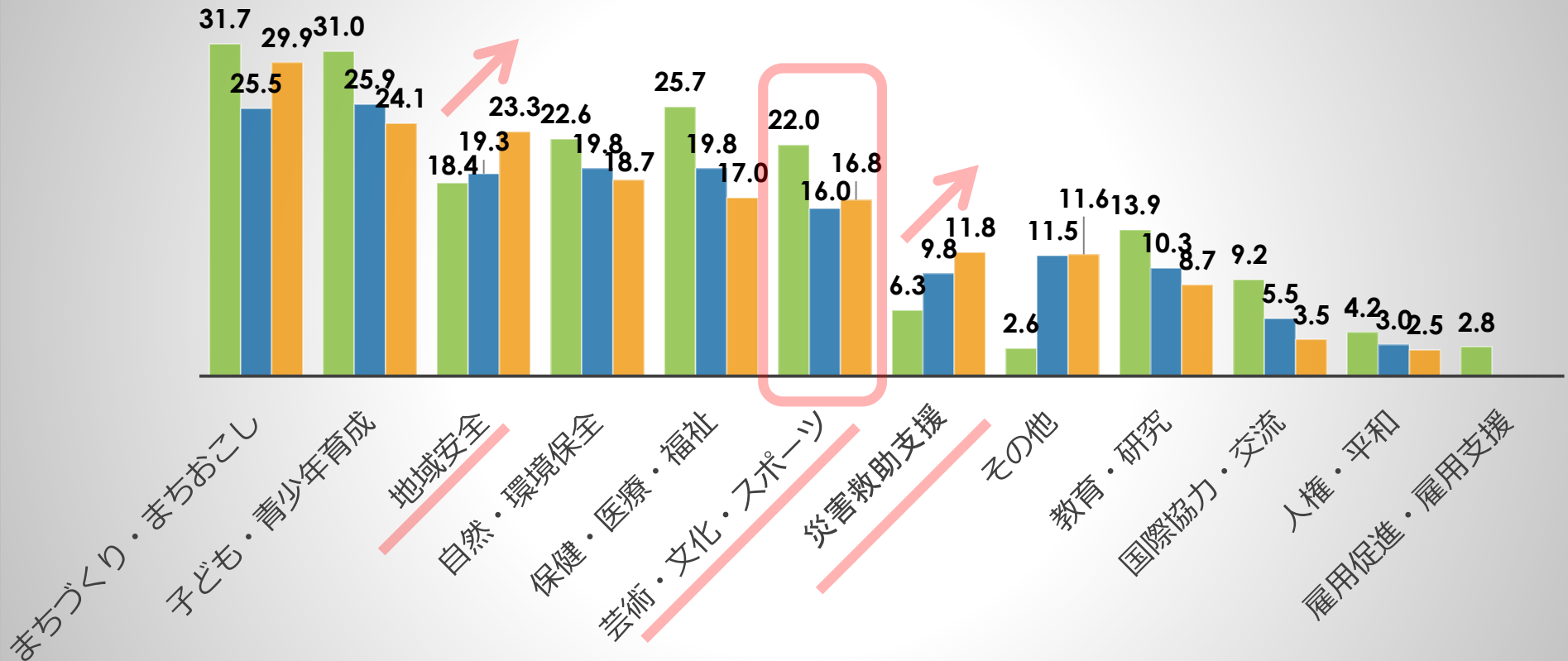
ボランティア活動経験の有無（年代別） 令和元（2019）年度調査

■ したことがある ■ したことがない



ボランティア活動に参加した分野 【複数回答】

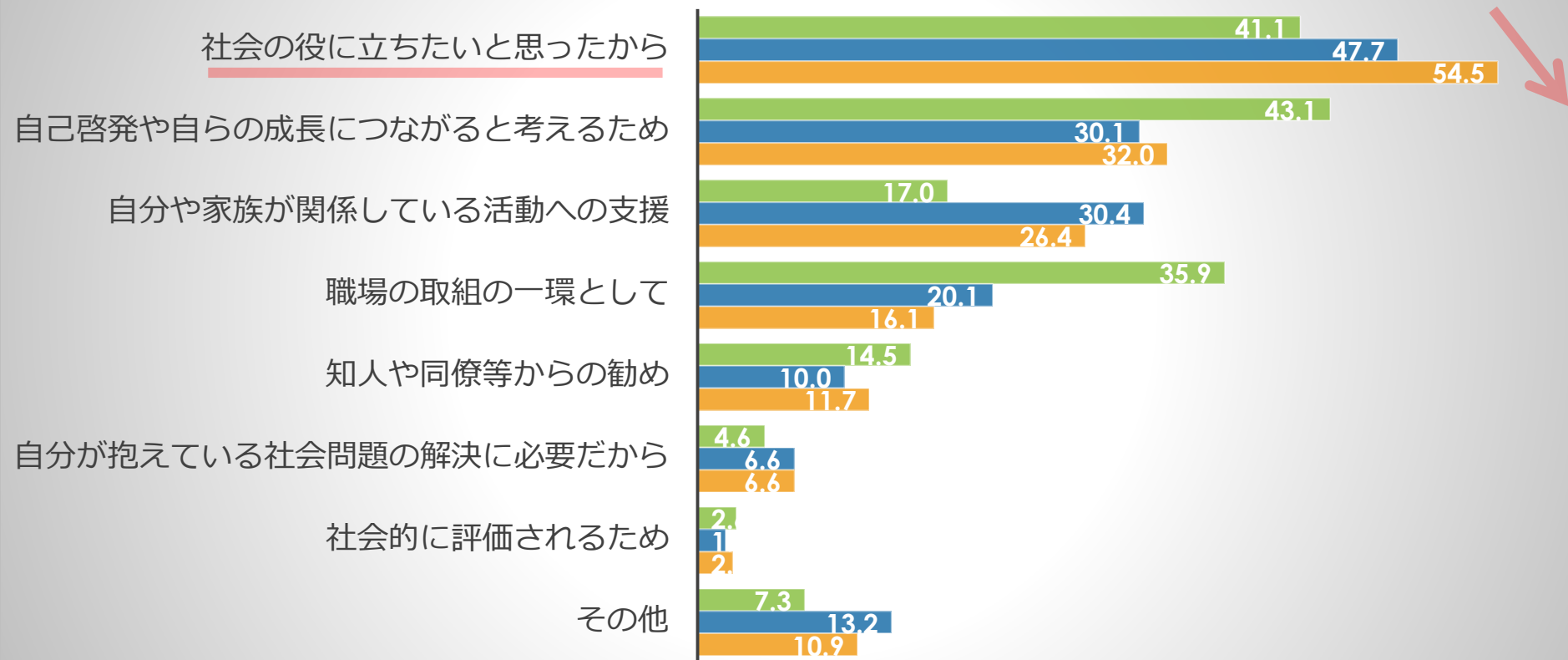
■ 平成25（2013）年度 ■ 平成28（2016）年度 ■ 令和元（2019）年度



ボランティア活動の参加理由

【複数回答】

■ 平成25（2013）年度 ■ 平成28（2016）年度 ■ 令和元（2019）年度



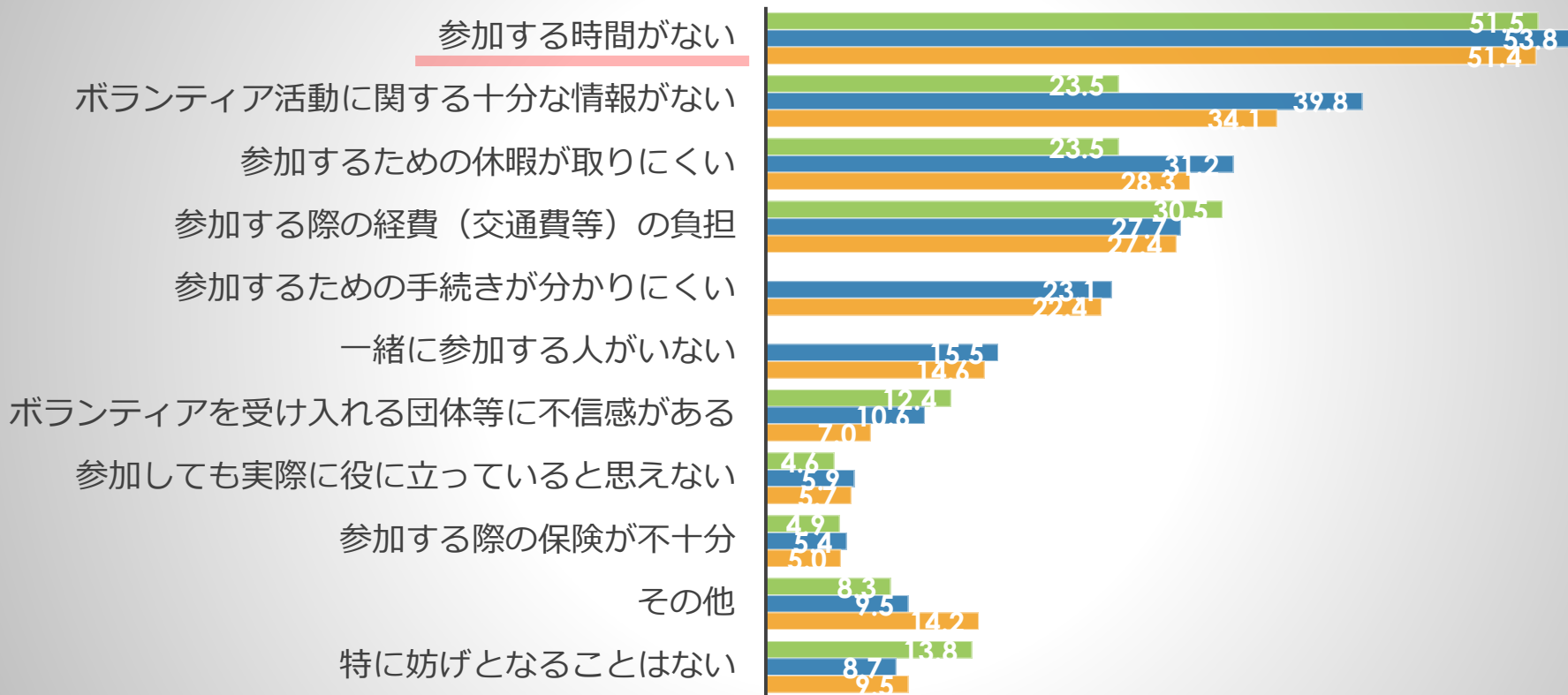
参加の妨げとなる要因

【複数回答】

■ 平成25（2013）年度

■ 平成28（2016）年度

■ 令和元（2019）年度



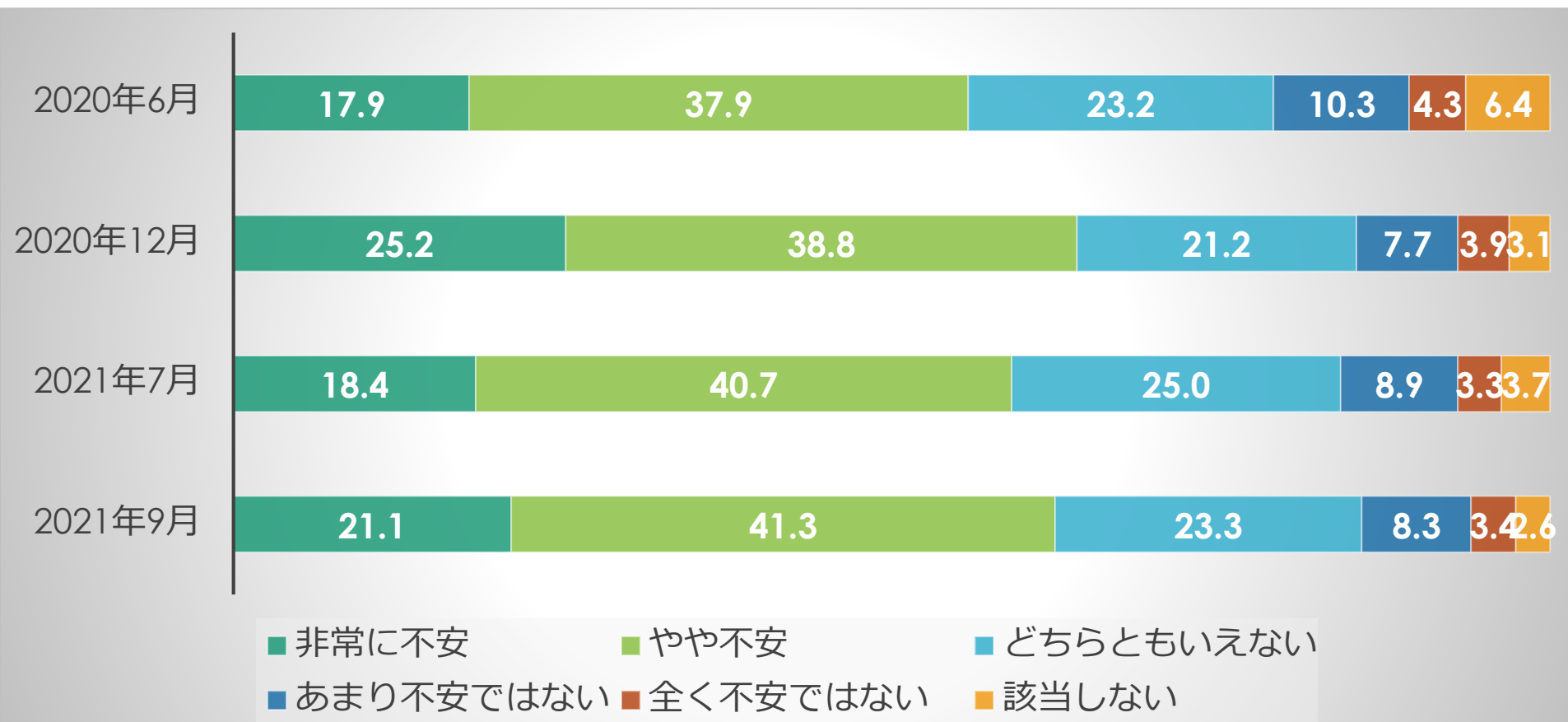
3. 新型コロナによる 生活の変化

新型コロナによる 暮らしの変化に関する調査 (ニッセイ基礎研究所)

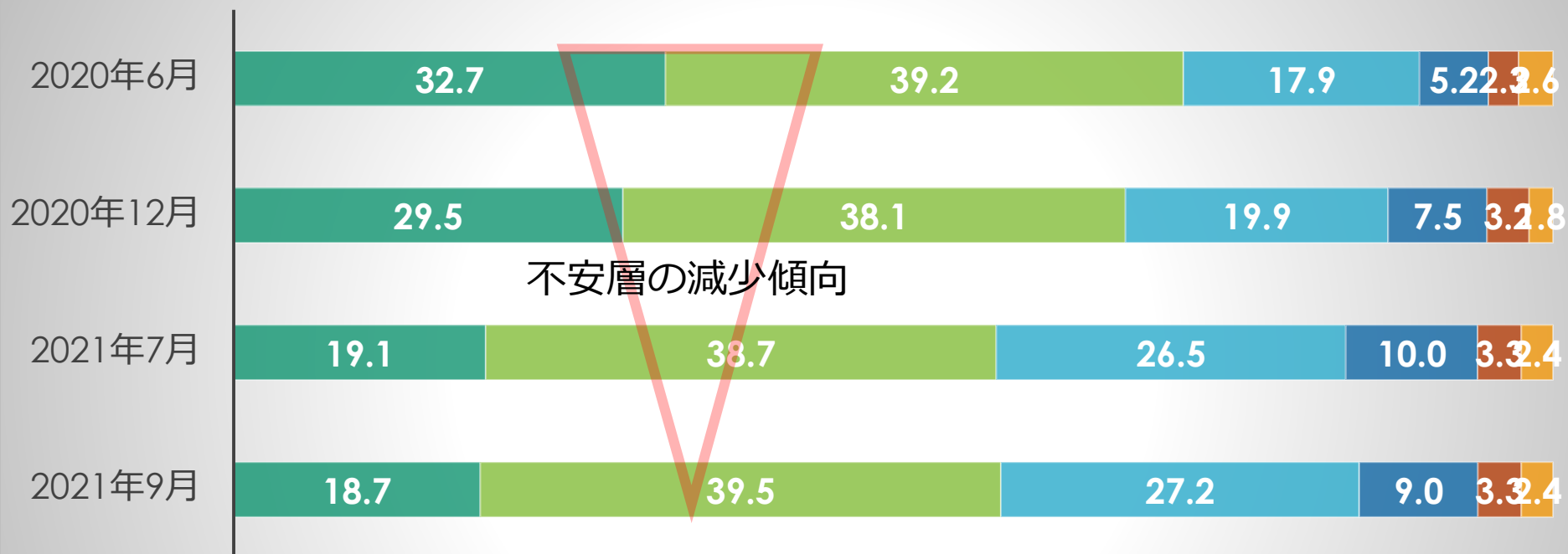
全国の20～74歳の男女（株式会社マクロミルのモニター）

※第1～4回までの調査対象は20～69歳

新型コロナによる生活不安：感染に関わる不安「感染による健康状態の悪化」

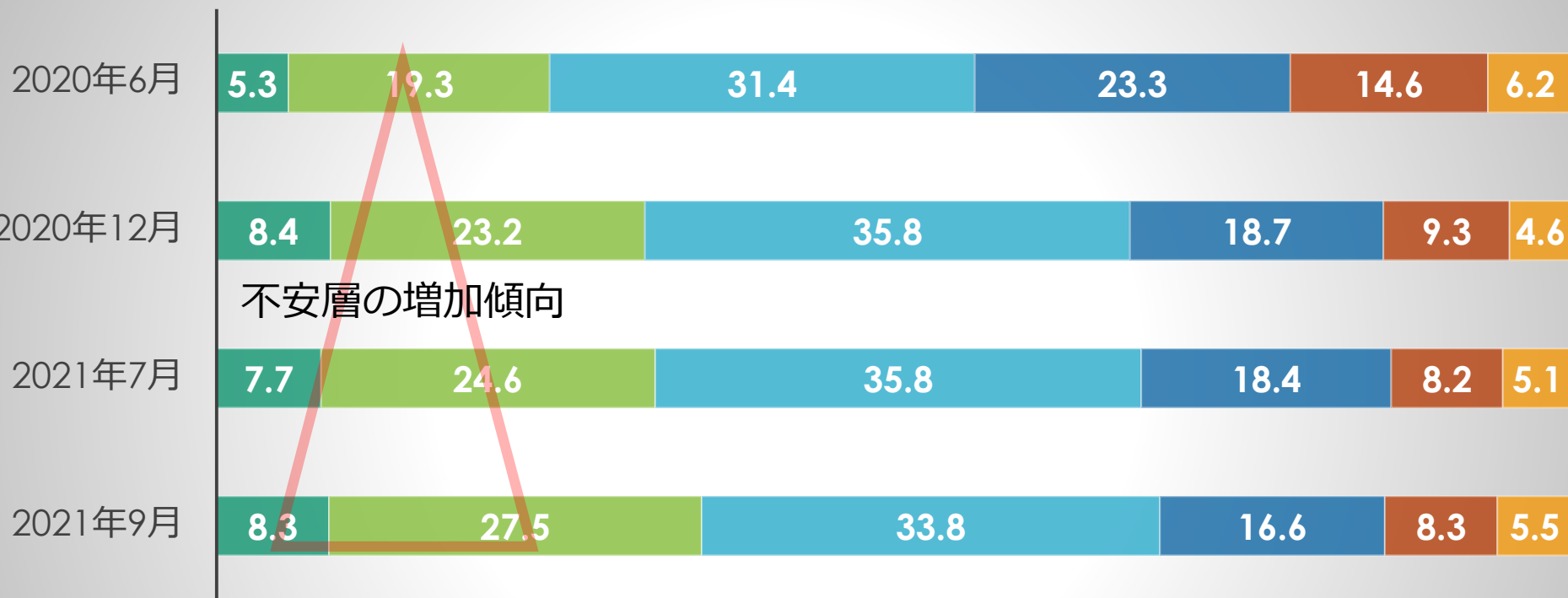


新型コロナによる生活不安：経済不安「日本経済が悪化し、企業業績・雇用環境悪化」



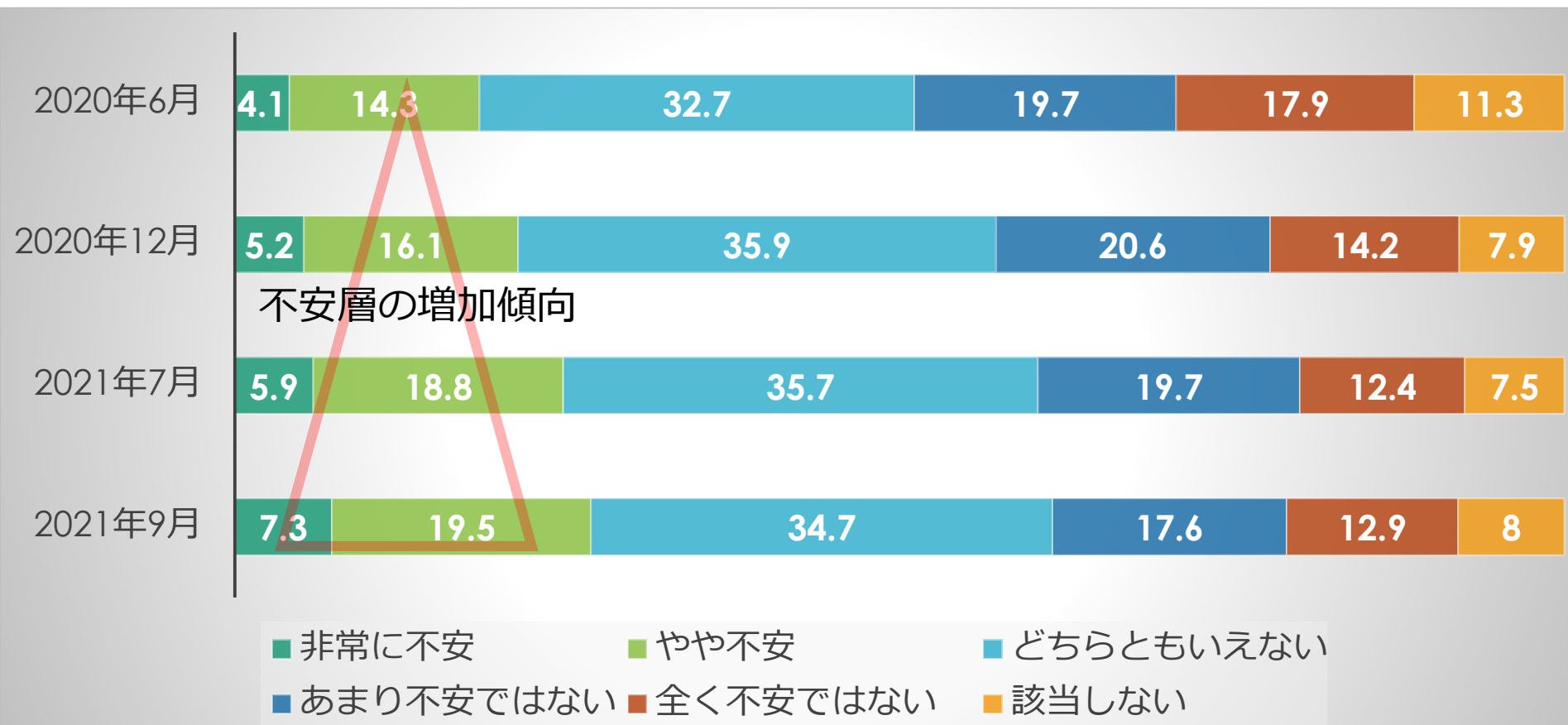
- 非常に不安
- やや不安
- どちらともいえない
- あまり不安ではない
- 全く不安ではない
- 該当しない

新型コロナによる生活不安：人間関係不安 「友人や知人との関係に距離ができる」



■ 非常に不安 ■ やや不安 ■ どちらともいえない
■ あまり不安ではない ■ 全く不安ではない ■ 該当しない

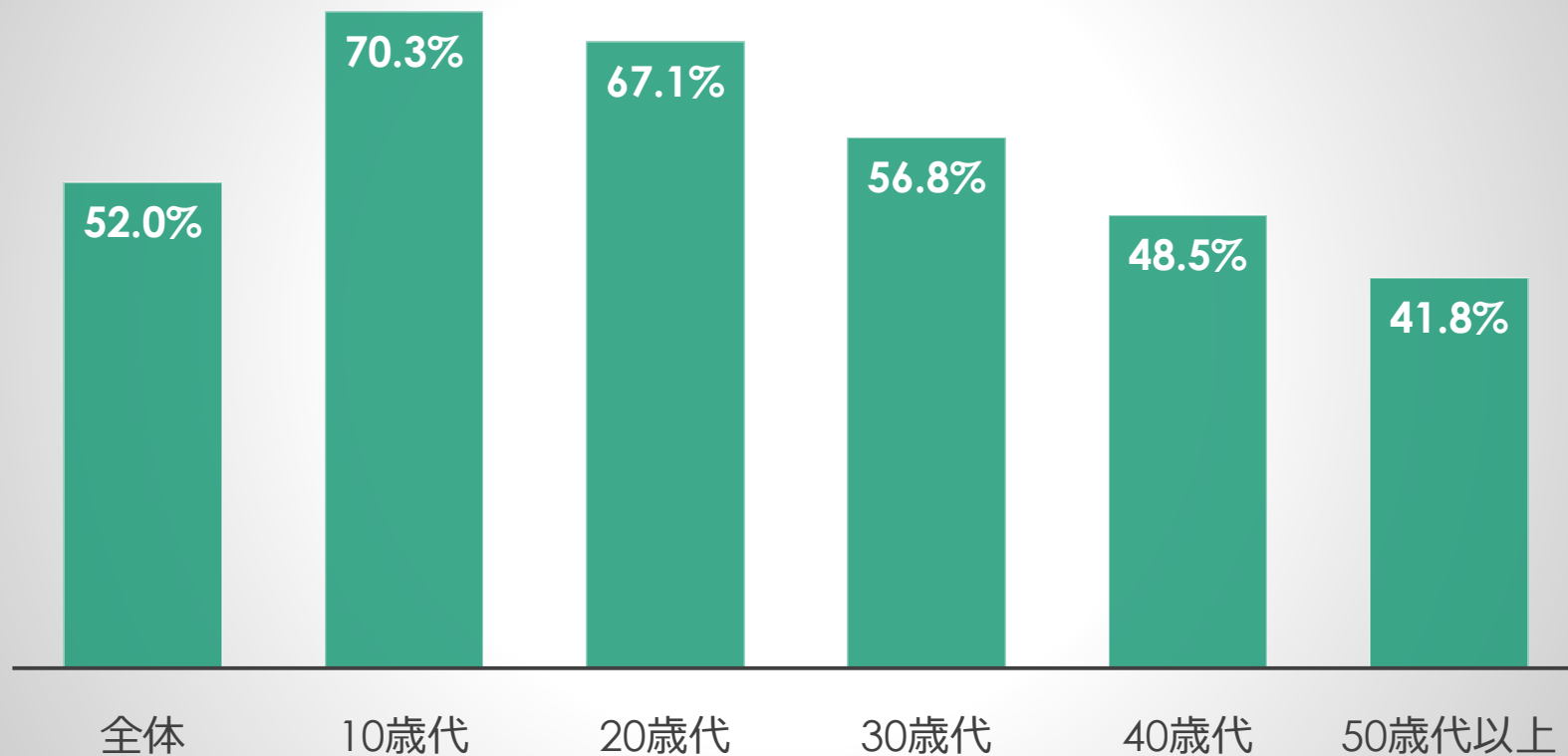
新型コロナによる生活不安：人間関係不安「新たな出会いが減る」



新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（内閣府）

調査対象：全国の15歳以上の登録モニター

新しいことへの挑戦や取組 (2020年5-6月調査)



新しいことへの挑戦や取組

■ 2020年5-6月 ■ 2020年12月 ■ 2021年4-5月 ■ 2021年9-10月

今までやれなかった日常生活に関わること（家の修繕等）に新たに取組んだ

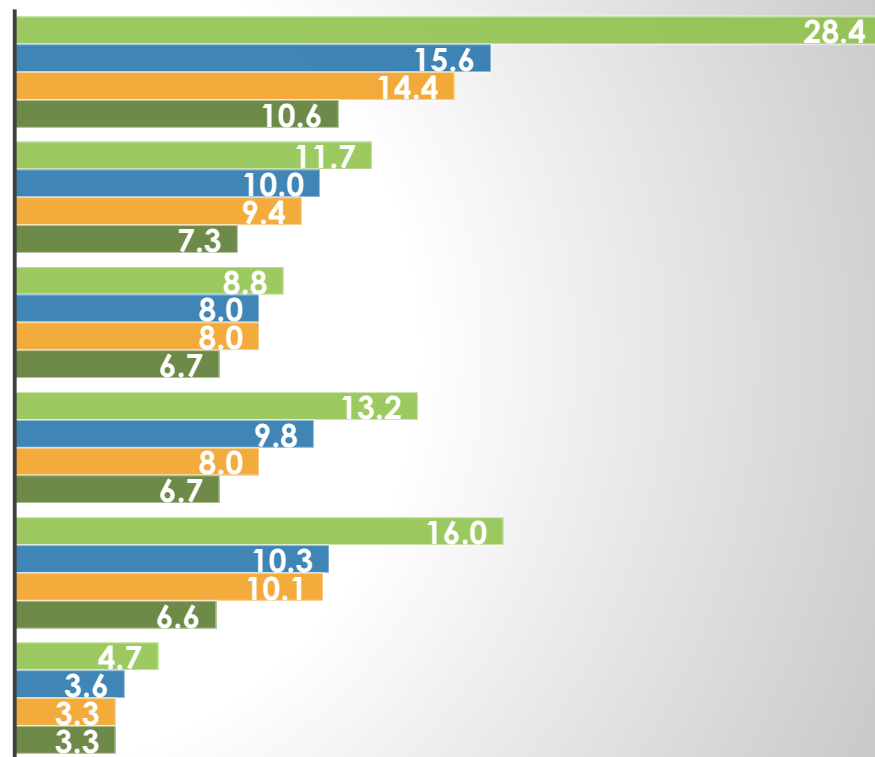
教育・学習（新しい分野、技術、語学等）に新たに取組んだ

ビジネス関係の勉強（資格取得、スキルアップ、転職情報収集等）に新たに取組んだ

オンラインでの発信（YOUTUBE等）、オンラインでの交流（ZOOM等）に新たに挑戦した

本格的な趣味（芸術、料理等）に新たに挑戦した

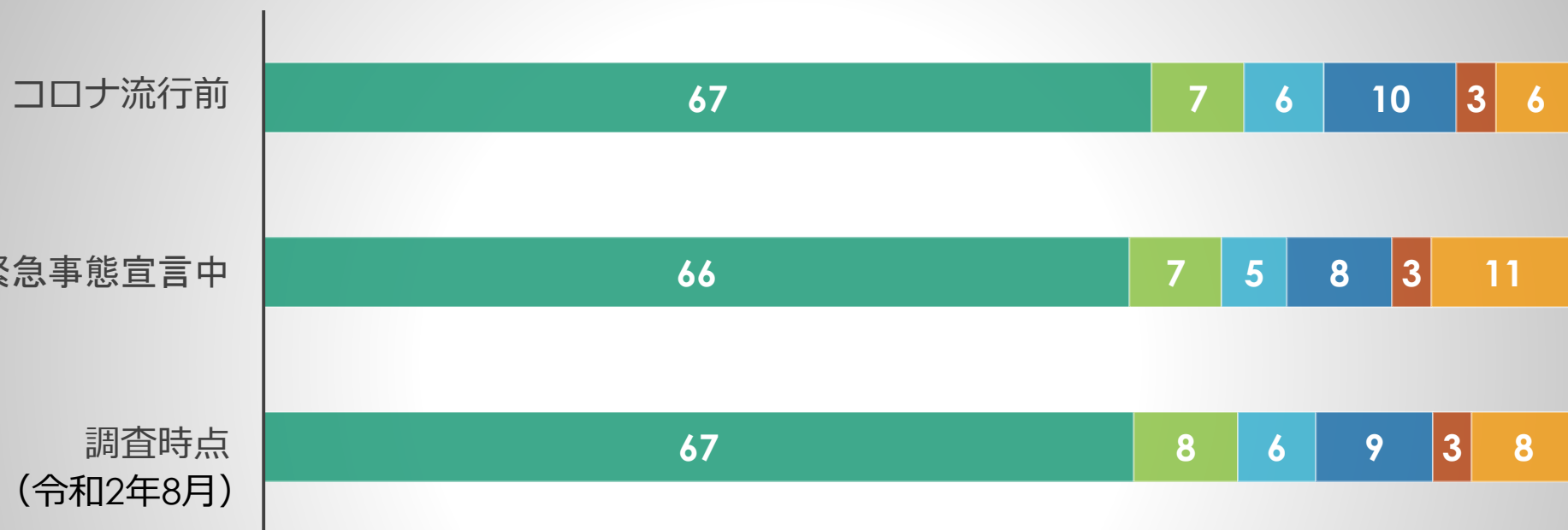
ビジネス（起業、副業、新商品開発等）に新たに挑戦した



全国の都市における生活・行動の変化—新型コロナ生活行動調査概要（国土交通省）

調査対象：新型コロナウイルスの感染者が多い東京都市圏及び、全国的な傾向を把握するため、全国都市交通特性調査の対象地域から都市類型や特定警戒都道府県の有無の観点から対象都市を抽出

最も頻繁に訪れた場所の割合：日用品の 買い物



■ 自宅周辺

■ 勤務地・学校周辺

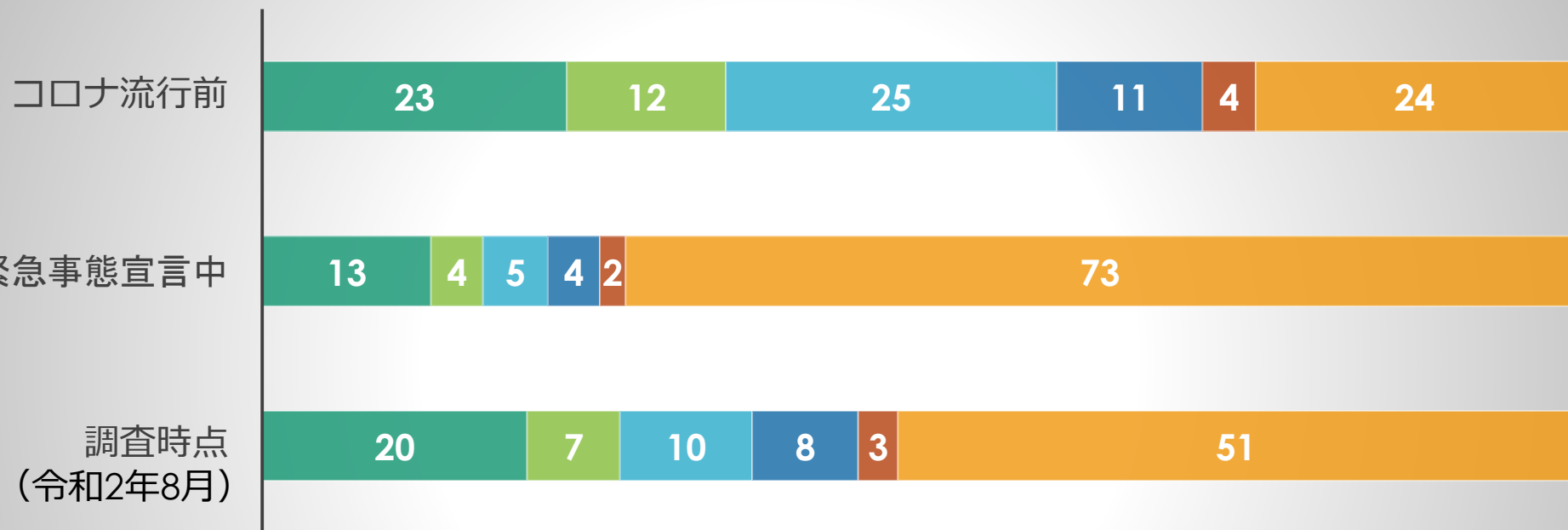
■ 自宅から離れた都心・中心市街地

■ 自宅から離れた郊外

■ その他

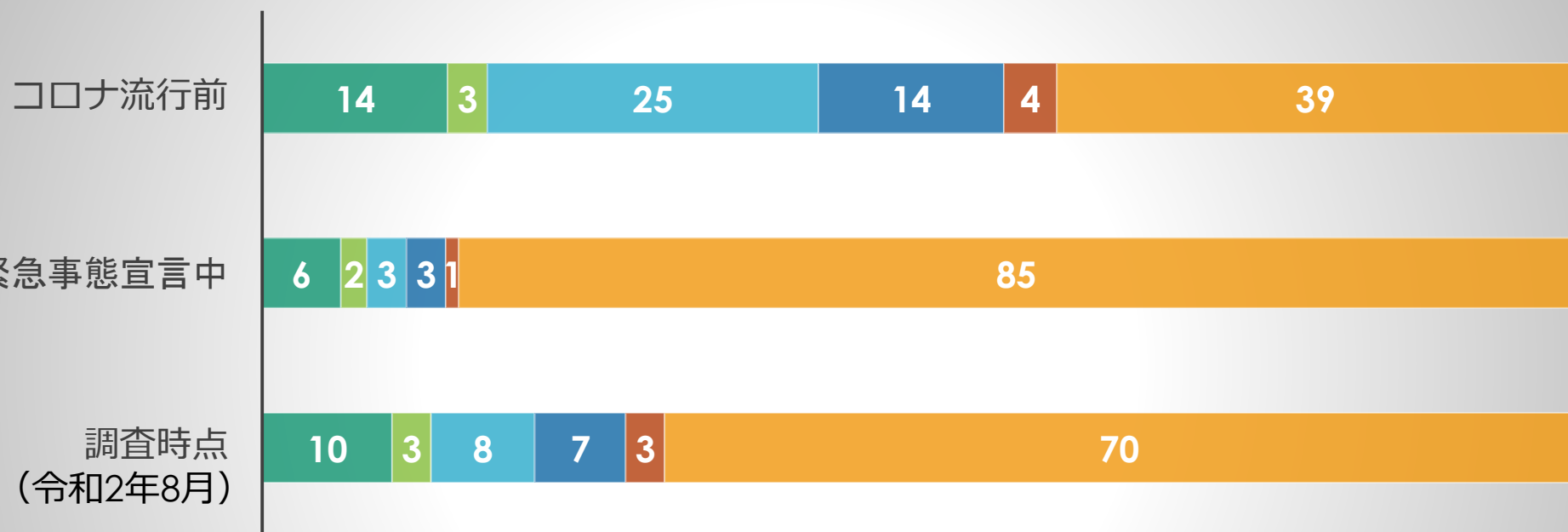
■ この活動では外出していない

最も頻繁に訪れた場所の割合：外食



- 自宅周辺
- 勤務地・学校周辺
- 自宅から離れた都心・中心市街地
- 自宅から離れた郊外
- その他
- この活動では外出していない

最も頻繁に訪れた場所の割合：映画鑑賞・コンサート・スポーツジム等の趣味・娯楽



- 自宅周辺
- 勤務地・学校周辺
- 自宅から離れた都心・中心市街地
- 自宅から離れた郊外
- その他
- この活動では外出していない

4. 新型コロナによる ボランティアの変化

ボランティア活動の促進協働会議2020 「コロナに負けないボランティア・市民活動の取組」



名古屋市社会福祉協議会

<https://www.nagoya-shakyo.jp/post-5691/>

ボランティア活動の促進協働会議2020

（本会を含む13団体で構成）では、コロナ禍においてもボランティア・市民活動を継続するためのポイントを整理した

『コロナに負けない ボランティア・市民活動の取組み』を作成しました。ぜひご覧いただき、コロナ禍での活動の参考にさせていただければと思います。

事例に見るコロナ禍の活動

遠くにいても参加できる!
リモートの良さを生かす

CASE 2・3・10

SNSで販売促進

CASE 1

リアルなイベントが
いつも通りできなくても、
動画を活用して開催を

CASE 1・7・8

マスクや換気だけじゃない
いろいろな感染対策

CASE 1・3・8・10

会議や打ち合わせだけじゃない!
オンラインの活用

CASE 1・3・4・5・7・8・9

オンラインとリアルを
上手に併用

CASE 9・10

こんな時だからこそ、
普段できないことに
取り組んでみる

CASE 4・5

つながりを持ち
続ける工夫

CASE 4

普段のつながり
を生かして
乗り越える

CASE 2・6

マニュアルを作って、
みんながオンラインで
参加できるように

CASE 3

オンラインでも
対話や学び合いを
大切に!

CASE 9

緊急時だからこそ
集まる支援

CASE 5

みんなが安心して
活動できるように
ガイドラインを作る

CASE 9

できる仕事を
探して
従業員を守る

CASE 6

東京ボランティア・市民活動センター「新型コロナの中でのボランティア・市民活動参考事例集」

<https://www.tvac.or.jp/corona/jireisyu/>

- ヒント1 電話やメールでの状況確認
- ヒント2 様々なツールで、つながりを保つ
- ヒント3 様々な手段で情報発信
- ヒント4 感染予防に配慮して居場所を開催
- ヒント5 ユニークな取り組み
- ヒント6 スタッフやボランティアへの配慮

ボランティア・市民活動の情報サイト

ボラ市民ウェブ

by 東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)

📄 簡単ガイド (障がいのある方、ネットに不慣れの方などに)

🏠 会

📍 初めてボランティア 自 ご利用案内 📍 アクセス&コンタクト



トップ

TVACとは?

情報を探す

ボランティア・NPOを知る

[トップ](#) / [新型コロナウィルス関連](#) / [新型コロナ参考事例集](#) / [新型コロナの中でのボランティア・市民活動 参考事例集](#)

🗨️ 新型コロナの中でのボランティア・市民活動 参考事例集

いま、できる活動って？

新型コロナウイルスの感染防止をしながらでも、やれることはあるよね！

ということで、様々な工夫・アイデアを凝らして活動を続けている団体がたくさんあります。

さて、いったい、どんな工夫やアイデアがあるのでしょうか。

都内のボランティア・NPO団体にヒアリングをして、参考になる事例を集めてみました。

皆さんも、ぜひ、取り組んでみてはいかがでしょうか。

(取り組み事例はこの後も順次、追加していく予定です)



考察：新型コロナによるボランティアの変化

- ボランティア同士の安否確認、つながりの再構築
- つながる手段のオンライン化、技術習得の必要性
- オンラインによる可能性の拡大と排除の危険性
- どのように人間関係の不安や課題に向き合うべきか
- どのように地域（自宅周辺）と向き合うべきか

5. 持続可能な地域文化と ボランティア

「心」という有機物

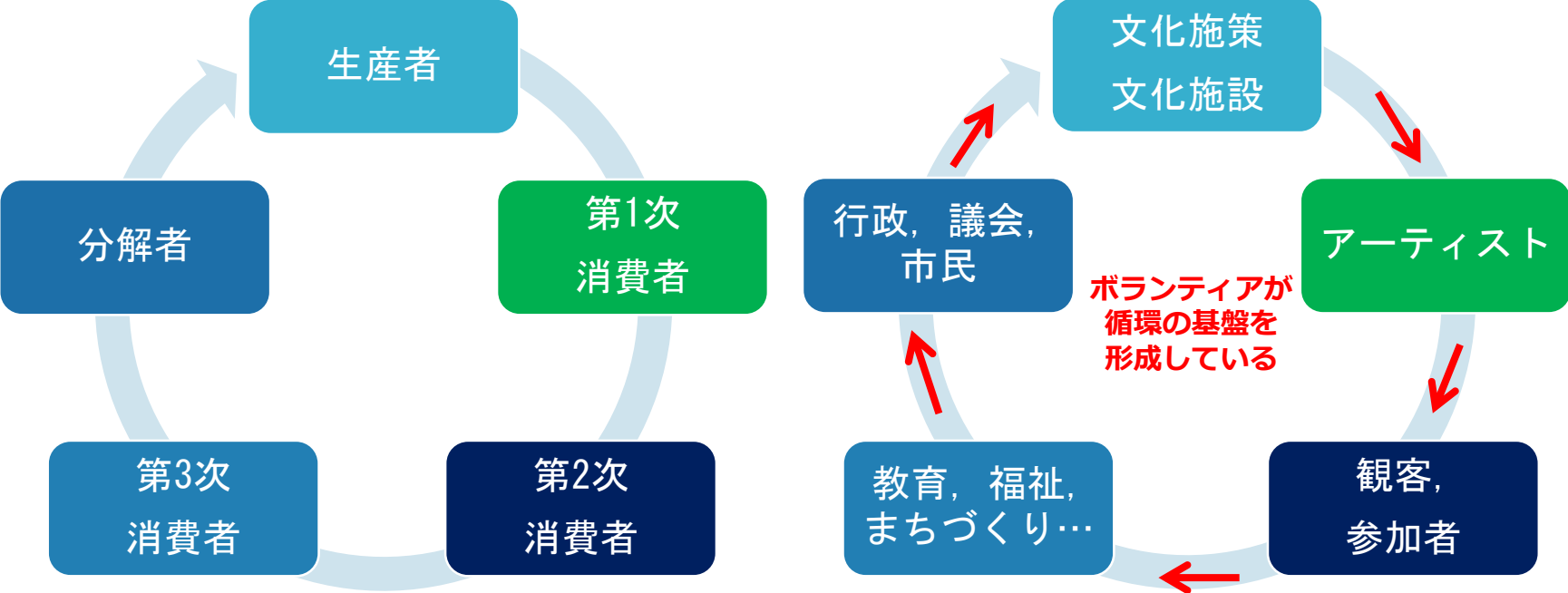
無機的な生活

- たべる
- したがう
- はたらく
- ねる
- . . .
- 牢獄のような生活

有機的な生活

- つくる
- 考える
- たのしむ
- 共感する
- . . .
- 人間らしい生活

生態系に見られる「循環」



持続可能性

持続可能性（じぞくかのうせい、英: sustainability）とは、一般的には、システムやプロセスが持続できることをいうが、環境学的には、**生物的なシステムがその多様性と生産性を期限なく継続できる能力**のことを指し、さらに、組織原理としては、持続可能な発展を意味する。すなわち、**人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念**であり、エコロジー、経済、政治、**文化**の4つの分野を含むものとされる。

（フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』）

攪乱（横浜国立大学 森章研究室）

「攪乱」とは、生態系・群集・あるいは個体群の構造を乱し，資源・基質の利用可能量・物理環境を変えるような，顕著なイベントと定義されます。

生物の生育環境を大きく変え，空いた空間，つまり次世代の個体が入り利用できるハビタット（生息場所）を生み出すことを攪乱と呼びます。たとえば，森林生態系の場合では，台風，ハリケーン，サイクロン，山火事，火山噴火，雪崩，などにより森林が大きく破壊されると，樹木が倒壊あるいは枯死したところでは，新たな開いた空間が形成されます。

そのような場所は，一見すると荒廃地に見えますが，実はさまざまな生物に住み場所を提供するとともに，自然のプロセスとしての再生の場ともなります（更新と呼ばれます）。その後，長い時間をかけての更新プロセスには決まった道筋はなく，非常にバラエティに富んでいます。攪乱と再生のプロセスにより，生態系に多様性が生み出されます。

今日、みなさんと考えたいこと

地域の文化ボランティアを持続可能にするためには

- 文化芸術を通じて「社会の役に立つ」という参加動機に応えられるだろうか。
- 若い世代をボランティアにどう誘えばいいのだろうか。
- コロナ禍でどんな新しい挑戦や取組が可能だろうか。
- **地域文化の持続可能性にとって、その活動が、なぜ必要だろうか？**

株式会社ニッセイ基礎研究所
芸術文化プロジェクト室
主任研究員 大澤寅雄

ohsawa@nli-research.co.jp

(福岡県糸島市在住、facebook友達リクエスト歓迎)